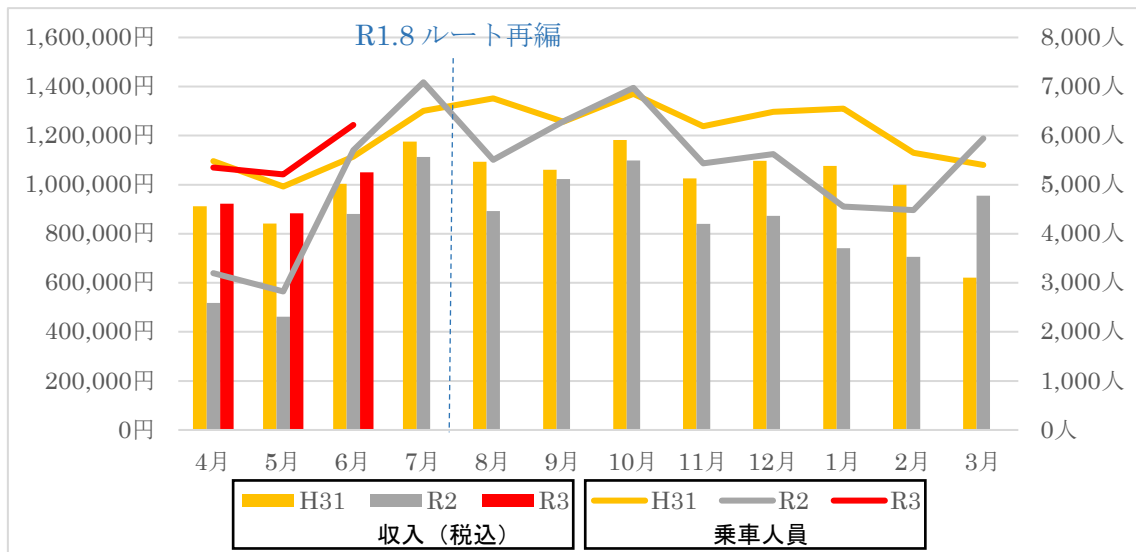


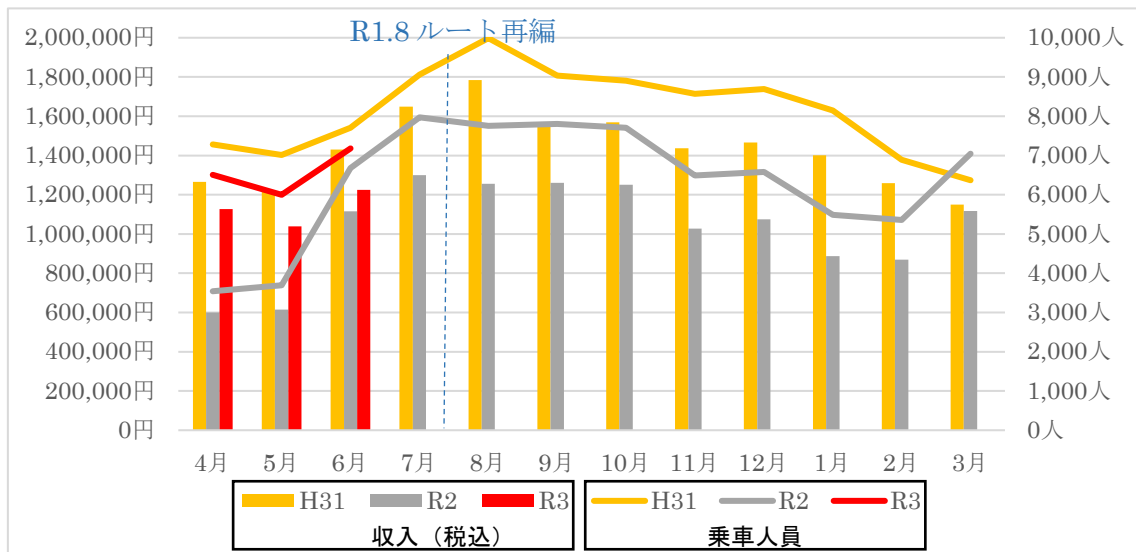
ぐるりんバスの運行状況について（報告1）

乗車人員等について

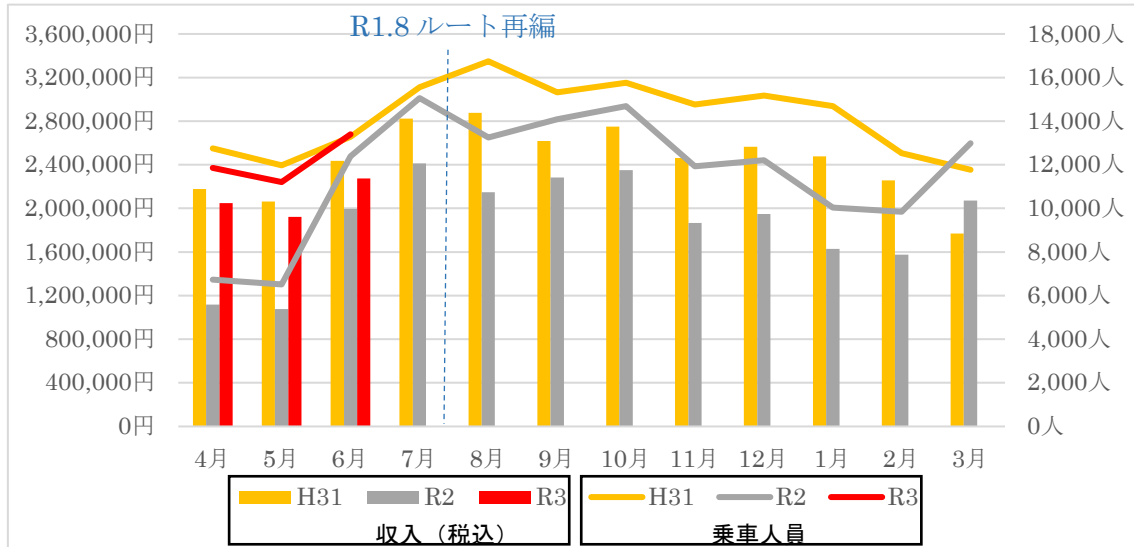
平成31年度から令和3年度の西砂ルート、錦ルートと全体の収入、乗車人員について、以下のグラフ1～3のとおりとなりました。令和2年4月、5月については新型コロナウイルス感染症の影響を受け乗車人員が大きく落ち込みましたが、6月以降回復傾向が見られます。



グラフ1：収入、乗車人員（西砂ルート）



グラフ2：収入、乗車人員（錦ルート）



グラフ 3 : 収入、乗車人員 (全体)

収支率について

資料 1-別紙 1「収支率について」をご覧ください。

次の 4 つの時期について検証しました。

1. ルート再編～コロナ禍前 (令和元年 8 月～令和 2 年 3 月)
2. ルート再編～令和 2 年度末 (令和元年 8 月～令和 3 年 3 月)
3. 令和 2 年度 (令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月) 最初の緊急事態宣言期間含む
4. 令和 2 年 6 月以降 (令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月)

ルート再編後、令和 2 年 3 月までは収支率 32.0%でしたが、コロナの影響でルート再編から令和 2 年度末までの収支率は 28.2%と、運行継続基準として定めた 30%を下回りました。ルート別にみると、西砂ルートは 23.4%、錦ルートは 33.6%でした。

令和 2 年度の収支率は、全体で 26.3%、西砂ルートでは 22.2%でしたが、錦ルートは 30.9%と 4 月、5 月に乗車人員が大きく落ち込んだにもかかわらず 30%に達しています。コロナの影響が特に大きかった令和 2 年 4 月、5 月を除く、令和 2 年 6 月以降の数値をみると、収支率は全体で 28.4%、西砂ルート 24.0%、錦ルート 33.5%となっており、いずれのルートも収支率には回復傾向が見られます。

今後も、乗車人員の大きな落ち込みがなければ、全体の収支率は 30%前後となる見込みです。

収支率について

資料1-別紙 1

1. ルート再編からコロナ禍前（令和元年8月～令和2年3月）

		乗車人員（1日あたり）	収支率
全 体		116,764人（479人）	32.0%
ルート別	西砂ルート	50,165人（206人）	25.7%
	錦 ル ー ト	66,599人（273人）	39.0%

2. ルート再編～令和2年度末（令和元年8月～令和3年3月）

		乗車人員（1日あたり）	収支率
全 体		292,945人（418人）	28.2%
ルート別	西砂ルート	130,558人（187人）	23.4%
	錦 ル ー ト	162,387人（232人）	33.6%

3. 令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）

		乗車人員（1日あたり）	収支率
全 体		139,721人（383人）	26.3%
ルート別	西砂ルート	63,615人（174人）	22.2%
	錦 ル ー ト	76,106人（209人）	30.9%

4. 令和2年6月以降（令和2年6月～令和3年3月）

		乗車人員（1日あたり）	収支率
全 体		126,474人（416人）	28.4%
ルート別	西砂ルート	57,599人（189人）	24.0%
	錦 ル ー ト	68,875人（227人）	33.5%